

# 第35回早大OC大会報告書

運営責任者 柳沢稜  
 競技責任者 熊見弘一  
 コントローラ 紺野俊介

## 1. 地図上でのコントロールディスクリプション誤表記に関して

本大会では、地図上のコントロール位置説明（以下、位置説明）及びコントロールコード（以下、番号）が誤っている事態が発生しました。競技開始後に誤りに気づいた競技者による報告によって初めて事態が発覚しました。

誤 150,特殊な人工特徴物 (×)	正 121,特殊な人工特徴物 (○)
誤 151,尾根	正 122,沢
誤 152	正 123
誤 38	正 60

以上の誤った位置説明及び番号が 6M-1,6M-2,6M-3,5M,初心者クラスで使用されました。

3分前枠で配布される位置説明表は正しいので、そちらを見て競技した選手は問題なく競技できましたが、地図上の位置説明を見て競技した選手は位置説明が誤っていることによりタイムが遅くなってしまったという選手がいました。そのため、競技の公平性に欠けると判断し、上記のクラスについては競技不成立としました。

下図は地図に記載されていた誤った位置説明表です。

6M-1	3,5 km	275 m	8	107	▽			
▷		↗ ▷	9	104	▷			↓
1 56	▷	┌	10	32	∩			
2 31	∩		11	115	∩			
3 50	↗	┌	12	108	∩			
4 112	┌		13	48	┌			
5 151	┌		14	111	↗			↖
6 152	▲	○	15	37	☘			○
7 55	▲	♀	○-----90m-----○					

6M-2		3,5 km		280 m	
▷		↗	↘	↙	
1	118	↗			
2	31	↘			
3	117	▲		○	
4	112	↗			
5	54	↗			
6	152	▲		○	
7	55		▲		♀

6M-3		3,6 km		280 m	
▷		↗	↘	↙	
1	150	×			
2	31	↘			
3	117	▲		○	
4	112	↗			
5	113	↗		↖	
6	152	▲		○	
7	55		▲		♀

5		2,9 km		195 m	
▷		↗	↘	↙	
1	45	↘			└
2	58	↘			└
3	115	↘			
4	119	↘			
5	57	↗			↖
6	113	↗			↖
7	151	↗			

8		107		V					
9	32	↘							
10	115	↘							
11	108	↘							
12	104	↘						└	
13	52	▲						○	
14	53	↗	▲					○	
15	37	↘						○	

○----- 90 m ----->

## 2. 位置説明誤表記の原因

前提として、本大会ではロングディスタンス競技とミドルディスタンス競技がありました。ロングディスタンス競技では地図のサイズが B4 であったことに対し、ミドルディスタンス競技では A4 でした。また、初心者クラスは縮尺 1:7500 です。そのため競技には

- (a) B4 のレイアウトの原図
- (b) (a)を下絵地図としたコース図
- (c) A4 のレイアウトの原図
- (d) (c)を下絵地図としたコース図
- (e) A4 で縮尺 1:7500 のレイアウトの原図
- (f) (e)を下絵地図としたコース図

の6種類のOCADデータを使用して、それぞれの地図を作成しました。コース図は(b)のコース図を複製し、下絵地図をそれぞれのレイアウトの原図とすることにより、コース図としました。

競技責任者がB4のコース図(b)で全てのコースを作成した後、役員全員（運営責任者、コントローラ、各パートチーフ）からの修正点を受け修正をし、コース確定としました。この時、A4のコース図(d)において修正漏れが発生したと考えられます。

印刷前に役員で(b)(d)(f)の最終確認を行い、判明した誤りについては全てのコース図及び原図で修正を行った後、印刷を行いました。しかし、上記の誤りについては気づくことができませんでした。

コース図の印刷後、シーリング作業担当者に地図を託した後は、地図を確認することはありませんでした。大会前日に競技責任者とコントローラが全てのコントロール位置と番号を現地で確認しましたが、このとき使用していた全コントロール図がB4コース図(b)のものであったため、A4コース図(d)の誤りに気づくことができませんでした。

### 3.反省とお詫び

このような事態を避けるために、一つのコース図を確定させた後にコース図を複製、地図調製を行なうべきでした。修正漏れがあったとしても、全ての地図が誤っていることになり、今回の場合、前日の確認で気づく可能性があったと言えます。しかし、今回は一部が正しいもので一部が誤っていたため、誤っていることに気づくことができませんでした。

また、修正漏れとして、クラスの誤表記もありました。6M-1,6M-2,6M-3,と正しいクラス名がそれぞれのコース図では表記されていたのですが、全コントロール図(b)では6Ma,6Mb,6Mcと誤表記されていました。

データを複製するという事は、修正、確認の手間も大きくなり、ミスが生じやすくなります。また、修正を加えた場合、その修正に関する確認を必ず2人以上でするべきだと痛感しました。特に地図といった競技の要となるものについてはよりいっそう慎重を期すべきでした。今後、このような事態が起こることのないよう細心の注意を払います。

本件で多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫びいたします。以上をもちまして、競技責任者からの報告といたします。

2015年2月23日  
競技責任者 熊見弘一